

Jsaas news

JAPAN SHIRTS APPAREL ASSOCIATION

編集・発行 (協)日本シャツアパレル協会

〒130-0026 東京都墨田区両国2-17-4 (小池事務所1階) Tel 03(3631)9443(代) Fax 03(3631)9441
 大阪支部 〒541-0055 大阪市中央区船場中央3-1-7 (船場センタービル 7号館2階 太陽繊維㈱内) Tel 06(4708)8119(代) Fax 06(4708)8139
 名古屋支部 〒460-0003 名古屋市中区錦1-13-31 (ミツワビル2階 ミツワ㈱内) Tel 052(202)1151(代) Fax 052(202)1152

2022年 謹賀新年 新年を迎えて



日本シャツアパレル協会 理事長 阪本英信



阪本 英信 理事長

新年あけましておめでとうございます。

2022年の新春を迎えて謹んでお慶び申し上げます。

2021年は、新型コロナウイルスが沈静化することを願っていましたが、年始から9月まで世界的にも日本においても猛威を振るい大きな行動制限が発令され、経済・日常生活・ビジネス

においても大きな変化となり、一年延期された東京オリンピックの開催も危ぶまれ、すべての競技において無観客での開催となりましたが、無事終了し、日本人選手の活躍で(メダル獲得数過去最高)感動と勇気をいただき励まされました。

当業界も二年連続で多大な打撃を受け厳しい一年でしたが、10月以降は、行動制限・ワクチンの接種効果により、感染者も急激に減少、小売業界も少しずつ活況を取り戻して前向きな気持ちで新年を迎えられました。このような環境下、協会各社は新しいビジネススタイル、生活様式に対応すべく新製品開発等一層努力をされており、心より敬意を表したいと思います。

日本シャツアパレル協会では、一昨年、「夏シャツの日」を制定しましたが、新型コロナウイルスの影響で昨年開催できず、また、秋の「シャツの日」のイベントも同様にホームページでのニュースアナウンスに終わりました。今年は、何となく皆様のご協力により、「夏シャツの日」「シャツの日」にはイベント・キャンペーン等を開催して、「素敵なシャツ」をアピールしてまいります。また、国道14号線拡幅工事による土地売却並びに現事務所用地活用事業による等価

交換マンション建設も順調に進行、来年秋に完成する予定です。その他諸事業活動では「繊維産業技能実習事業協議会」に構成員として参加、繊維評価技術協議会より標準化委員会委員を委嘱し、「繊維製品の取扱いに関する表示記号等に関するJIS開発」及び「繊維製品の形態安定に係る画像解析試験方法に関するJIS開発」について、その検討委員会に参加いたしました。

昨年、二年ぶりの開催となった国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)も世界的に注目を浴び、関心の高さが伺えます。当協会としてもSDGs(持続可能な開発目標)の推進を行っていますが、協会会員各社も、シャツの古着の回収、再生、リユース、シャツ包装の脱プラスチック等真摯に取り組んでいただいております。最後に、デザイナー「コシノジュンコ」氏の著書「56の大丈夫」について一節、「美しいものは人をポジティブにしてくれます。美しい洋服、美しい景色、見るだけで豊かな気持ち生まれ人間を高めてくれ、人生を有意義にしてくれる。厳しい時代だからこそ、大丈夫」という言葉に励まされます。2022年も業界を取り巻く環境は厳しい状況にありますが、業界発展のため日本シャツアパレル協会は皆様のご指導・ご協力をいただき事業活動に邁進してまいります。

2022年寅年、皆様にとって明るい一年になることを願って、新年のご挨拶とさせていただきます。



年 頭 所 感

経済産業省製造産業局 生活製品課
課長 永澤 剛



永澤 剛 課長

令和四年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶び申し上げます。

昨年、新型コロナウイルスとの厳しい戦いを余儀なくされた一年でした。足下では、国内の感染者数は落ち着きを見せておりますが、新たに報告されたオミクロン株が多くの国で確認されるなど、新型コロナウイルスとの戦いは続いています。

経済産業省としては、コロナ禍で傷ついた事業者への支援と

して、政府系金融機関による実質無利子・無担保融資を年度末まで延長するとともに、コロナ禍による新たな事業環境への変化に対応しようとする取組などを、「事業再構築補助金」、「生産性革命事業」の拡充によるグリーン・デジタル投資の加速化や、伴走支援によって支えることで、中小企業の事業継続と成長を後押ししていきます。

我が国の繊維産業は、厳しい国際競争の中で培われてきた技術力、繊細さや表現力により、私達の日々の暮らしの質をよりよくし、生活文化の発展に貢献することができる産業です。国内産地が“世界の産地”として発展する潜在的な力があると確信しています。今後、以下のような取組を官民で推進していきたいと思っております。

第一に、サステナビリティです。2015年、国連での「持続可能な開発目標」(SDGs)の採択以降、サステナビリティへの取組が活発になる中、当省においても、昨年2月に、「繊維産業のサステナビリティに関する検討会」を設置し、「環境配慮」、「責任あるサプライチェーン管理」等について、業界や有識者の方とも議論を重ね、7月に報告書を取りまとめて公表しました。「責任あるサプライチェーン管理」については、同検討会の提言を受け、昨年11月に当省立ち会いの下、日本繊維産業連盟と国際労働機関(ILO)との間で、繊維産業の責任ある企業行動の促進に向けた協力のための覚書(MOU)の署名がなされ、ガイドライン策定の検討がされています。サステナビリティの推進のためには、一企業だけでなく、サプライチェーン全体での取組が重要となることから、皆様の一層の取組を期待します。

第二に、デジタル化です。コロナ禍において、デジタル技術を活用した在庫管理やD to C(Direct to Consumer)に取り組む企業が見受けられます。デジタル化は、コストメリットもありますが、新しい事業展開を可能にする大きな可能性を持っています。繊維産業が多段階で複雑なサプライチェーン構造であるがゆえに、デジタル化の促進で新しい価値を作っていくことが可能です。IT導入補助金やDX投資促進税制等の支援策を用意していますので、是非ともご活用ください。

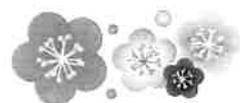
第三に、海外市場の開拓です。本年1月1日に「地域的な包括的経済連携(RCEP)協定」が発効しました。これにより、世界全体のGDP及び貿易総額の約三割を占める巨大な自由貿易圏が成立することになります。自由貿易圏が広がる中、衣料用、工業用ともに高い機能性、品質を持ち、レベルの高い縫製技術、ファッション性あるデザインを有する日本の繊維製品は、更なる輸出拡大が期待されます。政府としては、日本貿易振興機構(ジェトロ)、中小企業基盤整備機構(中小機構)などの支援機関と連携し、海外展開を図る中堅・中小企業などに対して、事業計画の策定から販路開拓に至るまでの総合的な支援を提供する「新輸出大国コンソーシアム」を形成しています。今後も皆様に対し情報提供や活用可能なツールの紹介を行うとともに、通商交渉・二国間協力等を通じた環境整備に引き続き取り組むなど、海外市場開拓を支援していきます。

第四は、コンプライアンスの遵守です。繊維産業では、多くの外国人技能実習生を受け入れていますが、残念ながら労働関係法規の違反事例が数多く報告されています。2018年6月に繊維産業技能実習事業協議会で決定した「繊維産業における外国人技能実習の適正な実施等のための取組」に基づき、引き続き、技能実習にかかる法令遵守等の徹底をお願いいたします。また、昨年9月には「繊維産業の適正取引の推進と生産性・付加価値向上に向けた自主行動計画」も改訂がなされました。業界の長年の課題である取引適正化の推進についても、積極的に取り組んでいただくようお願いします。

第五は、事業承継です。今後も企業が事業を継続的に発展させていくためにも、次世代への円滑な事業承継が求められています。中小企業による経営資源の集約化等を促す税制を始めとした各種支援策を是非ともご活用ください。

コロナ禍により、多くの繊維産業関連企業の売上が落ち込むとともに、消費者ニーズの変化に見舞われています。一方で、D to Cなどの動きが活発化してきているほか、スマートテキスタイル等の新しい市場でも動きがあります。変わりゆく産業構造や社会構造を踏まえ、繊維産業における今後の方向性を議論・検討するため、昨年11月、産業構造審議会に「繊維産業小委員会」を設置しました。同小委員会において2030年に向けた検討を進め、今春、とりまとめを予定しています。より良い方向性を示せるよう、皆様のご意見やご指導を賜りたいと存じますので、どうぞよろしく願いいたします。

最後に、日本シャツアパレル協会始め、我が国の繊維産業が大きな変革の時代を乗り越え、飛躍する一年になることを祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。



新春を迎えて

日本紡績協会

会長 辻

裕一



辻 裕一 会長

令和4年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

一昨年の年初より顕在化した新型コロナウイルスによる感染の拡大は昨年も猛威をふるい、社会や経済に大きな打撃を与えました。幸いなことに日本国内では、昨年秋以降に感染者が大きく減少し、緊急事態宣言なども解除されましたが、新たな変

異株の発生もあり、未だ完全なる終息が見通せません。今後はウイルスとの共生も念頭に置きながら、新たな社会・経済を見据えた取り組みを進めていく必要があると考えます。

わが国の実質GDP成長率は、昨年7-9月期は感染第5波による緊急事態宣言などの影響等により2四半期ぶりのマイナス成長となりました。10-12月期以降は活動制限の緩和を背景に個人消費の回復が期待され、2021年度全体では若干ながらGDP成長率はプラスになることが見込まれています。しかしながら昨今における資源エネルギー価格の高騰は、多くの原材料価格や物流コストの上昇に波及しており、産業界にとって大きな経営上の問題となっています。また労働力不足や国家間の政治・経済的な対立の拡大も、事業活動を進めていく上での懸念材料となります。

私ども繊維業界の状況は緩やかながらも回復に向かいつつありますが、未だコロナ禍前の水準には達していません。このような中でわが国の紡績各社には、競合国との差別化を図る高付加価値製品の開発や、抗菌・抗ウイルス素材など社会が必要とする製品の開発を通して市場における存在感を示していくことが求められます。

またSDGsやESGなど環境問題に対する取り組みや、人権問題への対応も重要な課題となります。繊維業界における大量生産・大量廃棄といった供給構造の是正や、サプライチェーンからの強制労働の排除といった問題については、業界全体がまとまって取り組んでいかねばなりません。また、このような取り組みを進めることが社会や消費者からの信頼を得ることに繋がり、市場の拡大や企業の成長をもたらすことになると思います。

これから先に訪れるウィズコロナ・ポストコロナの時代には、この他にも多くの課題がありますが、社会全体の取り組みと努力が実を結び、新たな時代に向けた明るい年となることを祈念して、新春の挨拶とさせていただきます。



中央職業能力開発協会会長表彰について

この度、協同組合日本シャツアパレル協会は、永年にわたり、職業能力開発・技能検定事業の普及・推進・技能者の育成に貢献し、技能検定事業の発展に寄与したことが認められ、中央職業能力開発協会会長より表彰されました。



* 2022年「新年賀詞交歓会」中止のお知らせ *

2022年1月に開催を予定しておりました東京地区・大阪支部・名古屋支部の「新年賀詞交歓会」につきまして、新型コロナウイルスの感染は減少しているものの、皆様の健康と安全を第一に考慮し、大変残念なことでありますが、開催を中止とさせていただきます。

会議要旨

<10月度財務委員会>

- (1) 本年度収支上期実績、年間見通し
事務局長より、上期収支実績、通期収支見通しについて前年・予算に対しての主な要因について報告が行われた。

<10月度役員会>

- (1) 本年度収支上期実績、年間見通し
財務委員長より、上期収支実績、通期収支見通しについて前年・予算に対しての主な要因について報告が行われた。
- (2) 新年会の件
来年度の東京地区新年会及び大阪支部・名古屋支部の新年会については、新型コロナウイルス感染防止のため、中止とすることとした。
- (3) 次回日程
1月25日(火) 時間場所未定
- (4) その他
 - ①「シャツの日」について
理事長より、毎年10月の第一日曜日「シャツの日」について、新型コロナウイルスの関係でホームページ上で、アピールを行った旨の説明が行われた。
 - ②東京都中央会主催「組合まつり」について
今年度も、東京都中央会主催「組合まつり」のオンライン展示会が12/2から来年1/14まで開催されることになり、当組合も参加を予定しており、来月内容について委員会で検討する旨の説明を行い、全員一致で了承された。
 - ③中央職業能力開発協会会長推薦による「表彰」について
今年度、中央職業能力開発協会より、永年にわたり技能検定事業に関して、技能検定委員の推薦・派遣、また技能検定における受験の奨励、技能検定制度の発展に寄与したことで会長推薦により11月中旬「表彰」される旨の説明が行われた。

- ④「家庭用品品質表示」改正について
事務局長より、「家庭用品品質表示」について化学繊維の改正により、「アクリル系」は「モダクリル」に来年1月1日より変更される旨の説明が行われた。
- ⑤新事務所の状況について
事務局長より、新事務所の状況について、説明が行われた。マンション建設に関し11/26(金)、亀戸天神にて「安全祈願祭」が行われるため、出席する旨の説明が行われた。

<11月度委員会>

- (1) 東京都中央会「組合まつり」オンライン展示会について
事務局長より、オンライン展示会出展について説明があり、出店に向けての検討を行った。
- (2) SDGsについて
各委員各社におけるSDGsの取組について発表していただき、理事長より組合として、今後、情報共有して検討していきたい旨の説明が行われた。
- (3) 「夏シャツの日」について
前年度延期となった「夏シャツの日」について説明があり、12月度の委員会で再度検討することとした。
- (4) その他
 - ①「家庭用品品質表示」改正について
「家庭用品品質表示」改正について説明が行われた。
 - ②中央職業能力開発協会会長推薦による「表彰」について
今年度、中央職業能力開発協会より、永年の功労について、11月中旬「表彰」される旨の説明が行われた。

<12月度委員会>

- (1) 東京都中央会「組合まつり」オンライン展示会について
事務局長より、オンライン展示会出展について「別紙の通り」説明・報告が行われた。
- (2) 「夏シャツの日」について
前年度延期となった「夏シャツの日」イベントについて、来年度実施に向けての内容等方向性を討議した。

協会の動き (10~12月)

[10月]

- 1 JSAAニュース312号発行
- 3 「シャツの日」第一日曜日
- 18 10月度財務委員会 (協会事務所)
- 19 10月度役員会 (第一ホテル両国会議室)

[11月]

- 4 11月度委員会 (第一ホテル両国会議室)
- 9 東京都中小企業団体中央会来協
- 16 日本紡績協会訪問 (JSAAニュース新年挨拶依頼)
- 16 経済産業省訪問 (JSAAニュース新年挨拶依頼)
- 22 消費税インボイス制度講習会 (自動車会館)

- 26 両国新築マンション安全祈願祭 (亀戸天神)
- 29 (組合まつりオンライン展示会) 案内発送
- 29 東京・名古屋・大阪「新年賀詞交歓会」中止案内
- 29 年末年始予定案内
- 30 東京都産業労働局調査「団体の概要、業種別動向調査」

[12月]

- 2 組合まつりリアル展示会訪問 2~1/14
- 組合まつりオンライン展示会開催
- 6 顧問税理士石橋先生訪問
- 7 12月度委員会 (第一ホテル両国会議室)

- 20 第10回繊維産業技能実習事業協議会 (経済産業省WEB)
- 21 繊維評価技術協議会分科会 (形態安定画像解析に関するJIS開発)
- 28 仕事仕舞い

お知らせコーナー

- ◎1月度委員会
1月20日(木)
於：第一ホテル両国会議室
- ◎1月度役員会
1月25日(火)
於：第一ホテル両国会議室
- ◎第69回通常総会
5月24日(火)
於：亀戸「アンフェリション」
- ◎次号314号は、3月1日発行予定です。